

一 時ハ泥ナリ瓦ナリト云フ如キ思想ガ数年来ノ因習ニ依テ重ク日本人ノ腦
 髓ニ浸潤スルヲ以テ無制限ナル勞働ヲ強ユルハ一見無理ナラザルガ如キ
 觀テモ其ノ惡シキ思想ヲ根底ヨリ絶滅シ眞ニ勞働タル精神ヲ以テ
 自己ノ職業業ニ全キテ之ヲ顧法セシメテ其能率ヲ増進セシメント後
 モ是非非現在ノ十三時間労働制ヲ廢シ今少シク勞働時間ヲ縮小セ
 ガル可カラズ 吾等ハ八時間制ヲ以テ理想トス然レ共吾人ノ理想ノミ
 ナ根底トシテ直チ之ヲ實行セント欲スルモノモ非入況ンヤ官會事
 業トシテ其制度ノ如何ハ以テ全國議會社ニ標準ニ定メ可キモノカ
 故ニ之レガ責任ヲ負フタル長官ノ時間問題ニ對シ輕々ニ斷入可カラザレ
 コトハ深ク考察スル要ナリ 依テ實際ニ時間短縮シ十時間制ニ至ル時
 逸進ニ伴ヒ漸ク八時間制ノ理想ニ進ムル事ヲ以テ現在ニ於ケル最モ
 總健ナル主張ト信ス

一 官會ニ對シテ他ノ職ニハ其數ニ於テ極少數アリ而シテ官會ニ對
 シテハ其數ニ於テ極多數アリ而シテ官會ニ對シテハ其數ニ於テ極多
 數アリ而シテ官會ニ對シテハ其數ニ於テ極多數アリ而シテ官會ニ對
 シテハ其數ニ於テ極多數アリ而シテ官會ニ對シテハ其數ニ於テ極多

第 四 號	
人 出 送	第 四 號
人 合 數	第 四 號

日本労働組合